★ 自己注射の手技を動画で確認できます

ゴナールエフ　レコベル　フォリスチム

1 FSHで卵胞を育てる

■ 月経２～３日目から **FSH**［　　］単位を５～６日間自己注射します

3 hCGで卵を成熟させる

■ 朝に最後の**GnRHアンタゴニスト**を使います

■ 21:00（時間厳守）に**オビドレル**を自己注射します

□ OHSS回避のため全胚凍結する場合は**カベルゴリン**を夜から８日間内服してください

5 胚移植

■ 食事を普通にとり、ナプキン、生理用ショーツを持参ください

【手順】 胚培養士の説明→着替え→胚移植→希望者は病室で静養

※ 胚移植後に月経様の出血があっても着床していることがあるので、薬を使い続けて予定どおりに来院してください

7 妊娠判定

■ 採血して妊娠を判定します

■ **プロゲスチン**を終了します

月経	３日目	超音波検査	超音波検査	超音波検査	hCG	D０	D+2～+5	D+11頃	D+14頃
	／	／	／	／	／	／	／	／	／

hCG

□ 月・水・木：14:00来院
□ 火・金・土：11:30来院

※受付終了１時間以上前に来院ください

今回の治療についてお知らせください

● **絶対に受診できない日**

□ ない　／　・　／　・　／

● **服用中の薬やサプリメントなど**

□ プロバイオティクス　□ ラクトフェリン
□ ＶＤ　□ バファリン　□ 柴苓湯　□ 他

● **希望するアドオンなど**

□ 採卵時の静脈麻酔
□ タイムラプス培養（□ USBメモリ）
□ 膜構造による精子選別術　□ 全胚凍結
□ PGT　□ プログラフ　□ ２胚移植

※ 今回の治療計画時に43歳未満であれば保険適用です（前回保険適用で全胚凍結した後の初回の凍結胚移植を除きます）

※ 保険適用の周期では先進医療を除く保険適用外の検査や治療（PRP療法、PGT、タクロリムス療法など）を併用できません

GnRHアンタゴニスト

■ 卵胞径が14mmを超えたら**GnRHアンタゴニスト**を毎日午前中に使って排卵を抑制します

■ 自費の場合：**レルミナ**内服

■ 保険の場合：**ガニレスト**皮下注

■ hCG投与日の朝まで継続します

［　　／　　～　　／　　］

プロゲスチン

■ 朝食を軽くとり、ナプキン、生理用ショーツを持参し、8:00に入院入口のインターホンで来院を伝えて２階ナースステーションにお越しください

【手順】 着替え→鎮痛坐剤を挿入→採血と点滴→採卵→病室で静養→昼頃に胚培養士が説明

■ 夜から**プロゲスチン**を使います

■ **ワンクリノン膣用ゲル**（１日1回）腟内に挿入

□ カテーテルが入りづらい方は頸管拡張を行います

■ 採血して着床を確認します

2 GnRHアンタゴニストで排卵を抑制する

4 採卵・採精

6 着床確認

アンタゴニスト法［保険／自費］